

入学後は 「^{くんどく}訓読」という方法で 原典を読みます

入学後、中国学専攻の多くの授業では、原典を「^{くんどく}訓読」（漢字の「くんよみ」ではありません）という方法で読み進めていきます。訓読とは、日本語と文法の異なる中国語の文語文（文言）を、原型を変えずに符号をつけることで日本語として読んでしまう方法です。

4	3	2	1
現代日本語訳	書き下し文	訓読文	白文
酔っばらって砂漠の戦場に 倒れ伏しても あなたは笑わないでくれ	酔ひて沙場に臥すとも君笑ふ莫かれ よ さちやう ふ きみわら な	酔臥沙場ニ君莫笑 ヒテ ストモ ニ カレ	酔臥沙場君莫笑

- 1 白文**：原文です。
- 2 訓読文**：漢字の左下に「レ」や「一・二」などの「**返り点**」をつけて読む順序を示し、漢字の右下にカタカナで「**送り仮名**」をつけて日本語に必要な活用語尾や助詞などを補います。送り仮名は現代日本語の文法ではなく、文語文法（古典文法）に従います。また現代仮名遣いではなく、歴史的仮名遣いを用います。
- 3 書き下し文**：訓読文の返り点・送り仮名に従って日本語の語順に直したものです。送り仮名はひらがなにして漢字と同じ大きさで書きます。
- 4 現代日本語訳**：書き下し文のままでは現代人には意味が取りづらいので、さらに現代日本語に訳します。

留学生のための中国学専攻ガイド

留学生のための 授業料減免制度 があります

経済的理由により修学に困難がある私費留学生のために授業料減免が受けられる制度があります。減免額は成績に応じて決まり、**最大50%の減免**が受けられます。

また博士後期課程には授業料が**全額免除になる奨学生選抜入試**があります。奨学生選抜入試は外国人留学生入試との併願が可能です。もし奨学金合格者になれなくても、入学後に上記の授業料減免を受けるチャンスがあります。

そのほかにも留学生のための奨学金制度があります。詳細は別途お問い合わせください。

日本での 研究をサポートする 体制が充実しています

1 | 研究倫理教育・論文作成導入教育

研究を進めるにあたって知っておくべきこと、守るべきルール、論文を書く時の作法などについて講義形式で分かりやすく説明します。国文学専攻・国際日本学研究科と合同で実施します。

2 | 日本語論文添削指導

留学生が日本語で書いた論文やレポートなどを予約制で個別に添削指導します。授業期間中は毎月複数回の機会を設けます。国文学専攻と合同で実施します。

3 | 研究会形式での研究指導

中国学専攻の全教員・全院生が原則参加する研究会形式の研究指導です。毎回担当者を決めて先行研究の紹介や評価をしたり、現在取り組み中のテーマの中間報告などをおこないます。ほかの学生の発表を聞いて自分の研究のヒントを得ることができます。

※内容は2025年度のもので、2026年度以降は変更となる場合があります。

公式SNSで最新情報をチェック！

受験生サイト



公式 LINE



公式 Instagram



公式 YouTube



二松學舎大學 大学院／文学研究科

お問い合わせ 入試課

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

TEL.03-3261-7423 FAX.03-3261-8904

E-mail. nyushik@nishogakusha-u.ac.jp

ホームページ

<https://www.nishogakusha-u.ac.jp/admission/>



社会人だからこそ学ぶ 中国古典学

世界第二位の経済大国となり、隣国である我が国とも多方面にわたって結びつきが強くなっている中国。ビジネスで中国と関わる方も増えていますが、中には中国語ができて交渉で芳しい成果が出せない場合もあるようです。それは中国の歴史・思想・文化についての理解が不足しているから。中国の人も相手が自国の歴史・思想・文化について理解が深いと分かれば、本気で相手の話を聞こうと思うはず。ただし、中国は五千年にも及ぶ悠久の歴史と伝統を持つ国です。その国の思想や文化を知ろうと思えば、どうしても古典を学ぶ必要があります。約150年の歴史を持つ二松学舎は明治10年に漢学塾としてスタートしました。その伝統を最も受け継ぐ中国学専攻では、多彩な専門分野を持つ教授陣が幅広い中国古典学の世界にいます。中国古典を学び、学位論文を仕上げることで、世界で堂々と渡り合うための武器を身につけてみませんか。

※中国学専攻の多くの授業では、原典を「訓読」という方法で読み進めていきます。

世界的な研究拠点で学ぶ 日本漢学

日本は古来、中国からさまざまな影響を受けてきました。学術・文化方面については漢字・漢文を通じて受容・吸収し、自分たちなりに消化して独自の学術成果を発表するに至りました。その表現も漢文によってなされています。いま地域研究としての日本学が注目を集める中、前近代から日本の学者たちが漢文で著してきた資料に対する研究が盛んになっています。二松学舎大学は今世紀に入ってから立て続けに「21世紀COEプログラム」「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」という2つの文部科学省による研究助成のビッグプロジェクトを推進し、日本漢学研究の世界的拠点構築に努めてきました。その成果もあって、現在では多くの貴重な資料を所蔵し、世界中の研究機関とのネットワークも築かれています。日本漢学の世界的な研究拠点となった本学では、最先端の研究成果に触れながら自身の研究を深めていくことができます。

※内容は2025年度のもので、2026年度以降は変更となる場合があります。

社会人のための中国学専攻ガイド

仕事帰りに通える 夜間の授業も開講

文学研究科では昼夜開講制を導入しています。昼間にも夜間にも授業を開講する制度で、働きながら大学院に通う方も仕事帰りに授業に出席することができます。原則として昼間の開講科目は次年度では夜間に、夜間の開講科目は次年度では昼間に開講することとしています。可能な限り在籍する社会人学生の履修状況に配慮して時間割を組んでいます。

※夜間開講の授業のみを履修する場合、2年間では修了条件を満たせないことがあります。

研究をサポートする 体制が充実

1 | 二人の指導教員が選べる研究指導

入学すると「主たる指導教員」と「副指導教員」を選びます。普段は主に自身の研究テーマと専門が最も近い「主たる指導教員」から指導を受けつつ、関連する専門分野を持つ「副指導教員」からも随時指導を受けることができます。

2 | 研究倫理教育・論文作成導入教育

研究を進めるにあたって知っておくべきこと、守るべきルール、論文を書く時の作法などについて講義形式で分かりやすく説明します。国文学専攻・国際日本学研究科と合同で実施します。

3 | 研究会形式での研究指導

中国学専攻の全教員・全院生が原則参加する研究会形式の研究指導です。毎回担当者を決めて先行研究の紹介や評価をしたり、現在取り組み中のテーマの中間報告などをおこないます。ほかの学生の発表を聞いて自分の研究のヒントを得ることができます。



公式SNSで最新情報をチェック！

受験生サイト



公式 LINE



公式 Instagram



公式 YouTube



二松学舎大学 大学院／文学研究科

お問い合わせ 入試課

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

TEL.03-3261-7423 FAX.03-3261-8904

E-mail. nyushik@nishogakusha-u.ac.jp

ホームページ

<https://www.nishogakusha-u.ac.jp/admission/>

